



特定非営利活動法人
リトミック研究センター

本部

〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-7-8 東京南新宿ビルディング2F
TEL 03-5354-3891(代表) FAX 03-5354-3892

大阪事務局

〒530-0003
大阪府大阪市北区堂島2-1-40 新堂島ビル4F
TEL 06-6346-5724 FAX 06-6346-5744

ホームページ

指導者を目指す方へ <http://www.r-ken.com>
こどものためのリトミック <http://www.r-kodomo.com>



Rythmique



特定非営利活動法人
リトミック研究センター

いつでも どこでも だれでも
このすばらしい教育を受けられるように



リトミック研究センターとは

1987年。当時、国立音楽大学でリトミックの教鞭を執っていた板野平教授（1928～2009。後の国立音楽大学名誉教授、リトミック研究センター最高顧問）は、より広くリトミックを知らしめ、より多くの子ども達にリトミックの恩恵に浴してもらえるよう、新たな組織の必要性を、リトミックを愛する国内の中心的指導者に訴えかけました。それに呼応して賛同の意を表明したのが、板野教授の教え子であり、産業界に身を置いていた岩崎光弘（リトミック研究センター前会長）です。

1988年秋、名称を『リトミック研究センター』とし、人的、資金的援助を日本ビクター株式会社に求めて、新しい組織が発足。この組織の特徴は

- ・リトミックを愛する指導者自らが運営する。
- ・本部から支局、指導の現場まで一体であり、上下関係はとらない。

であり、すべての会員が対等に活動できる組織としたのです。そしてその設立目的は、“幼児期における理想的とも言える教育＝リトミックを、一人でも多くの子ども達に広めていく”ことを第一としています。

リトミック研究センターの提唱するリトミックは、無限の可能性を秘めた幼児期に、音楽を通じて、人としての総合的な能力をバランスよく開花させることであり、人や物、文化などがあらゆるメディアを通じて行き交うようになるこれからの国際社会において、日本人としてのアイデンティティーを持ちながら、21世紀を真の社会人として行動できる、豊かな人格の形成に寄与することを目的としています。

そのような理念により新たに開発された幼児のための教育プログラム《こどものためのリトミック》と《幼稚園・保育園のためのリトミック》そして、ピアノ学習者のための《リトミックバイエル》は、創始者エミール・ジャック＝ダルクローズの指導理念を受け継ぎながら、我が国の幼児教育事情にマッチさせた、日本人のための、子ども達のためのリトミックと言えるでしょう。そして、それらを実践し、広めていくのがリトミック研究センターの役割と考えています。

設立
1988年

役員
会長 板野和彦（明星大学教育学部教授）
研究室長 杉本 明（白百合女子大学講師）

本部
〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-7-8
東京南新宿ビルディング2F
TEL 03-5354-3891（代表）
FAX 03-5354-3892
ホームページ <http://www.r-ken.com>



年月を経て組織も拡大。2002年7月に、内閣府の認証を得て独立法人化。特定非営利活動法人として、新たなスタートを切りました。

よき理解者、優秀な指導者を年々輩出。子ども達を豊かな心を持つ人間に育てていこう、未来社会を形成しうる人物としての“根”を培っていこう、という熱い思いを抱いて、今、この瞬間も、日本にやってきたリトミック教育は、リトミック研究センターのもと、価値ある明日へ向かって、一步一步確実に歩み続けています。

リトミックは、スイスの音楽家であり教育者でもあった、エミール・ジャック＝ダルクローズ（1865～1950）が創案した教育法で、児童心理学や大脳生理学などをベースとした、音楽だけに止まらない総合的な人間教育としての在り方が、その後の教育者たちに多くの共感を与えて、欧米各国に広がっていきました。

我が国においては、戦後間もなくニューヨークで学んだ板野氏が、その確かな理論に裏打ちされた指導法に感銘を受け、帰国後、国立音楽大学（東京）に設けられた専門教育課程において教鞭をとったことが、リトミック教育のスタートと言っても過言ではないでしょう。もちろんそれまでも、リトミック的要素を採り入れたものはありましたが、しっかりと体系づけられた“教育学”として、本格的な取り組みが始められたのはこの時からです。そして、リトミックを体験し、その指導効果の一端を目のあたりにしてきた多くの学生たちは、リトミックを携えて、幼稚園・保育園など我が国の隅々にいる幼児教育の現場で活躍しています。

秩序を重んじるがための一斉教育や、経済成長を支えるための結果重点主義による教育を余儀なくされてきた子ども達が、身の丈を遥かに越える情報と物質文化に囲まれ、自分自身の身の置き所を見失い、物の価値判断も十分にできぬまま迷走し始めている現在、技術力や方法論に偏りがちであった我々大人の在り方そのものに疑問を感じていた多くの指導者は、リトミックにその救いの手を求め始めています。

子どもが子どもらしくあるために、子どもの目線に立った指導を展開するリトミックは、今、もっとも注目されている教育の一つといえることができるでしょう。その指導理念は、時代に順びることなく、常に優しく子ども達を見つめています。



リトミック研究センター会長
明星大学教育学部教授
板野 和彦

集中力、創造力、思考力、そして、美しいものに素直に感動できる心。

これらの情操感覚は、ほとんどが幼児期に完成されるものです。この大切な時期に、子どもたちに優れた教育に触れさせる機会を与え、純粋なものを見つめる力を養うことは、きわめて重要なことと言えるでしょう。

先生やお母さんが必死に教え込むのではなく、子どもたち自身が、のびのびと生活を楽しむこと。日本の教育が、目の効果を求める傾向にある今日、人間らしく育てるゆとりを、私たちが持たなければならぬと思います。



リトミック研究センター研究室室長
白百合女子大学講師
杉本 明

私たちが生きていく上で欠かせない能力＝集中力、想像力、創造力、私たちが生きていく上で欠かせない集中力・想像力・自立心・向上心・社会性・協調性などのほとんどは、幼児期に形成されていきます。リトミックは、音楽の基礎能力を育むだけでなく、これらの能力を上手く引き出してあげることが真の目的です。「この大切な幼児期に1人でも多くの子どもたちがリトミックに触れて、将来、社会人として存分にあらゆる能力を発揮できるようになって欲しい」これは《リトミック研究センターの願い》です。今日における日本の教育の現状を考えると、次世代を担う子どもたちにとってこの教育法が大きな役割を果たすと確信しています。

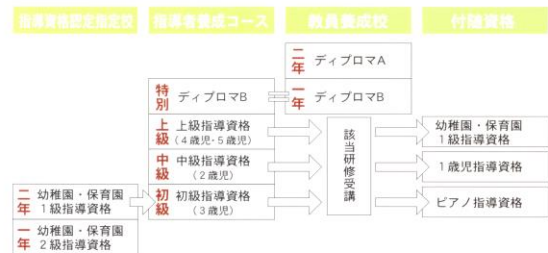


優れた指導者

創始者エミール・ジャック＝ダルクローズの指導理念を具現化し、リトミックを広く普及させるためには、よき指導者の育成が必須です。

リトミック研究センターでは、我が国の風土・文化を採り入れ、子ども達が無理なく受け入れるよう、独自に新たな幼児教育プログラムと指導用教材を開発しました。それが、1歳児から5歳児を対象とした《こどものためのリトミック》であり、年少・年中・年長さんのための《幼稚園・保育園のためのリトミック》そして、ピアノ学習者のための《リトミックバイエル》です。また、それらの指導を強力に補佐し、子ども達の理解をより容易にさせるための教材＝教本・教具は、子ども達の精神的・肉体的発達を十分に考慮し、指導の実践の中から寄せられた子ども達や指導者の声を反映させることにより、現場と本部研究室が一体となって開発したもので、リトミック指導者ならではのアイデアがふんだんに盛り込まれています。

しかし、いかに優れたプログラムであっても、その効果は、ひとえに教育現場での指導力が決定します。リトミック研究センターでは、これらのプログラムのよき実践者を育成するため、毎年5月から翌年4月まで、年間9回の研修による《指導者養成コース＝月例研修会》を全国各地で開催、また、中堅となる指導者の育成のためには、東京・名古屋・大阪に《リトミック研究センター付属教員養成校》を設け、週2回400時間（2年間）にもわたるリトミックの専門教育をしています。



指導者の育成カリキュラムは、リトミック理論やリズム運動、キーボードハーモニーなど、指導のベースとなる技術、能力、知識の習得・向上は勿論のこと、指導プログラムの効果を最大限に発揮させるための実践手法（ティーチング）を主体として、習得レベルに応じて5段階に分割。初めてリトミックに接する方でも、無理なく、かつ容易に身につけていくことができるよう、また、習得したものをすぐにも実践できるよう、導入は3歳児対象のリトミックから。それにより、1歳児から5歳児までの指導の流れを掴みやすく、子ども達一人一人の成長を、長く温かな眼で見守ることができるようになりました。さらに、全国50ヶ所以上、どこの会場でも同じ内容の研修を受けることができるのも、リトミック研究センターならではのシステムです。

指導資格は、該当するすべての研修を修了し、厳しい《指導資格認定試験》に合格した者だけに与えられるもの。自ら伸びようとする力を育み、子ども達の秘めた能力を呼び起こして、心身ともに健やかな発育を促すことのできる、子どもたちのため、そして、幼稚園・保育園のためのリトミック指導者としての証です。リトミック研究センターでは、指導資格を持つすべての会員の活動を応援するとともに、リトミック教育のエキスパートとして、その資質と力を保証しています。

